

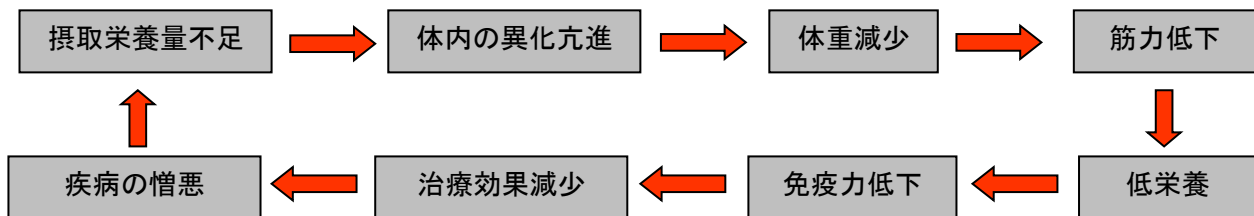
# 低栄養は悪循環！

## 栄養が不足すると…。

栄養ルートには経口・経鼻・胃瘻・腸瘻・PPN・TPN などがあり、病院では患者の状況に応じた栄養ルートの選定がおこなわれています。

栄養摂取量が不足すると、外部からの栄養摂取が少なくなる為、体内の栄養素を分解して生きていく為に必要なエネルギーを作り出します。

体内の異化亢進が進んで行くと、筋蛋白質の分解などがおこり、放置していると筋力低下などの悪循環に陥ります。



## 早期介入で早期改善を目指す。

低栄養状態が続くことで、上記のような悪影響が現れます。悪循環に陥ってしまうと、抜け出すことが難しくなり、栄養状態はなかなか改善しません。栄養状態が低下すると想定される患者や入院時に羸瘦の患者は早期に栄養管理を行う必要があります。

**低栄養になってからではなく、低栄養の可能性のある場合は NST へご相談ください。**

## 輸液のみの栄養管理

末梢静脈を使用したラクテックやソリターT3などは、水分補給や一時的な電解質補正で使用されることがあります。

ですが、輸液のみの栄養管理をしている患者がソリターT3 1000mlのみだった場合はおにぎり1個と水のみで1日を過ごすことと同じになります。



輸液による栄養管理が長期間となる場合は、必要に応じて輸液内容の見直しや、脂肪乳剤の併用などをご検討ください。